

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%

保護者様： 19名回答、回答率 82.6%

職員の意見

○環境・体制整備

段差がある箇所には職員を配置し見守りを行ったり、必要に応じて介助を行い安全に配慮して対応している。机や椅子がある場所で余暇を過ごしている利用者様もいるため、スペースの区切り等があると良い。体制に関しては、法令上必要な人員を配置することができている。個別での介助や支援を必要とする場面では、職員間で声を掛け合い配置を工夫したり、個別課題の時間をずらすなどのスケジュール調整によって対応することができている。

○業務改善

日々のミーティングのほか、職員それぞれから個別で話を聞く場を設けるなどして職員全員の意見を集約し、全体の支援や運営の方針を決めるようにしている。保護者からの意見を受け止め、今後も送迎時や面談時に真摯に話を聞いて改善に努めていく。

○適切な支援の提供

個別支援計画を元に個々に合わせた療育を実施している。集団療育の内容が固定化されないよう、同じ名前の活動であっても内容を変えることや、目的を変えながら取り組んでいる。課外活動にて、公共の交通機関を使う訓練や、昼食の購入練習などを取り入れ、卒業後の自立に向けた活動を多数実施している。

○関係機関や保護者との連携

必要に応じて相談支援専門員との会議に参加している。また保護者様との連携に関しては送迎時や個別支援計画の面談時だけでなく、相談があった際には時間を設けて対応を行っている。

○保護者への説明責任等

契約時は重要事項を説明し、個人情報の使用同意をいただいた上で契約をしている。また毎月ニューズレターにて活動予定をお伝えしている。

○非常時等の対応

毎月の避難訓練の実施だけでなく、災害時の避難体験ができる防災施設への課外活動を実施し、より実践的に訓練を通して防災意識が高められるような取り組みを行っている。またおやつを提供に関しては、食物アレルギーがある利用者様もいるため、全員がアレルギー除去をした献立で提供を行っている。虐待防止や身体拘束適正化の研修では、全職員が参加し他教室の意見も取り入れることで、虐待防止に努めている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

環境に関しては、「広々とした空間」で「余計なものを置いていない」、「子供が楽しく通っているので良い環境なのかなと思います」等のご意見をいただいた。

体制に関しては、「以前に比べてスタッフの人数が少ないと思います。」、「専門性については個々によって異なるのでわからないが、人数はギリギリのような気がします」、「お会いしない人もいるので何人いるかがわからない」等のご意見をいただいた。今後も、職員一同保護者様の安心できる環境・体制整備に取り組んでいく。

○適切な支援の提供

「細かな所までよく見て下さり、送迎の時にもアドバイス頂いてます」、「支援内容も一緒に考えて頂きプログラム作って頂きます」、「個別支援計画が前よりきめ細かになって親としてはありがたいです」等のご意見をいただいた。今後も個々に合わせた支援の提供を行っていく。

○保護者への説明等

「家族よりもよく見て下さり、新たな発見があったりもします」、「スタッフさんが親身になって話を聞いてくれます」等のご意見をいただいた。今後も送迎時等に保護者様に些細なことでも共有を行い、真摯に対応を行っていく。

○非常時等の対応

「普段から避難訓練をやって頂いてます」、「避難訓練がいろんなパターンで行っていてすごいと思った」等のご意見をいただいた。今後も様々な災害を想定し、迅速な対応ができるように実施していく。

○満足度

9割以上のご家庭に満足いただいている。保護者様からは「職員さんによって偏りがあるのは気になりますが頑張ってくれてると思います」、「普段のプログラムや親が連れて行けない課外活動等も楽しんでいます」等のご意見をいただいた。今後も利用者様に合わせた支援を行っていくことで満足度に貢献していく。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・近隣の作業所等について調べ、アポイントを取って実際に足を運んで見学する等して、どんな作業を行っているか確認し、集団療育の中に組み込む。
- ・保護者会や療育参観の開催日時について、アンケートを取る等して参加率が上がるようにする。
- ・ブログを定期的に更新し、教室での様子を発信する。
- ・利用者様のニーズに合わせた調理活動や課外活動を増やす。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・近隣の作業所等調べてはいたものの、実際に見学を行うことはほとんどできなかった。就労週間の作業内容が固定化されないように工夫を行った。
- ・夏休みに、1週間を通して参観ができる機会を提供した。保護者会の開催ができなかったため、年度初めに計画して実施できるようにする。
- ・業務分担ができなかったこともあり、ブログの更新ができていなかった。月に1回のペースで更新を行っていく
- ・長期休みや祝日開室の際に、調理活動や課外活動を積極的に取り入れ、実施することができた。外出先が固定化されつつあるため、安全管理を意識しながら、外出先のレパトリーを増やしていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者様との連携を密に行うことで、安心して利用者様が通所できるように努めている。
- ・保護者様の要望を聞き、教室内で共有することで支援に反映させることができている。
- ・卒業後の就労に向けた療育内容を立案して行っている。
- ・安全管理を意識しながら、課外活動や調理活動を積極的に行っている。

○改善点

- ・保護者会の実施ができていない。療育参観に関しては1週間を通して実施をしたが、参加できない保護者様もいたため、開催の回数を増やすことや保護者様体験型の療育を企画する等していく。
- ・ブログの更新ができていないため、教室での様子や取り組み内容の発信の場を増やしていく。
- ・職員の業務分担を見直していく。
- ・職員それぞれのスキルの向上と職員体制などの保護者への周知で、体制への安心を感じてもらう。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・活動内容が固定化されないよう、5領域を意識して様々な内容を取り入れていく。
- ・保護者会や療育参観の機会を増やすとともに、多くの保護者様が参加できるように日程調整する。
- ・アレルギー除去した調理活動の実施や様々な課外活動の実施を行う。
- ・業務分担の適正化を行う。
- ・教室内研修や会社内の研修をもとに、全職員のスキル向上を目指す。
- ・人員体制が変更になった際は、安心して通所していただけるよう保護者に説明を行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・卒業後の就労を意識した活動内容の検討や多角的な視点でプログラムを組んでいく。
- ・保護者会や療育参観の日程に関するアンケートを実施し、早めに調整を行うことで、より多くの保護者様に参加していただけるようにする。
- ・利用者様のニーズに合わせた調理活動や課外活動の実施に向けて、情報収集を行う。
- ・業務分担を行い、3ヶ月に1回見直し、適正化を図る。
- ・人員体制の変更時には、お便りやニュースレターでも職員体制をしっかり周知していく。